

省エネ法トップランナー基準の対象機器に家庭用ヒートポンプ給湯機が新たに加わりました

「エネルギーの使用合理化に関する法律(省エネ法)施行令(トップランナー関連)の一部が改正され、エコキュートが対象機器に新たに追加され、2013年3月に2017年度省エネ基準値が想定世帯、貯湯容量、仕様、保温機能有無、貯湯缶数により36の区分で定められました。なお、下記表は日立エコキュートが該当する区分のみを抜粋しています。

区 分						*12
区分名	想定世帯	貯湯容量	仕 様	保温機能	貯湯缶数	2017年度省エネ基準エネルギー消費効率
17	標準	320L以上 550L未満	寒冷地仕様以外	有	一缶	3.3
18				有	二缶	2.8
19				無	一缶	3.2
21		寒冷地仕様	有	2.7		
25		寒冷地仕様以外	有	2.9		
29		550L以上	寒冷地仕様	有	2.4	

●上記の省エネ区分目標基準値一覧表は、一般社団法人 日本冷凍空調工業会ホームページに記載されています。
http://www.jraia.or.jp/product/heatpump/l_category.html

家庭用ヒートポンプ給湯機の性能表示が変わりました

家庭用ヒートポンプ給湯機(エコキュート)は、これまで一般社団法人 日本冷凍空調工業会標準規格JRA 4050の評価に基づいた性能表示をしていましたが、平成23年2月に日本工業規格JIS C 9220が制定されたことを受け、JIS C 9220の評価に基づく性能表示へ変更しました。JIS C 9220では、従来のJRA 4050から給湯負荷や試験方法を見直すとともに、新たに“ふろ保温”の評価を含めた「年間給湯保温効率」が規定されました。

	JRA表示機種		JIS表示機種
規 格	JRA 4050 一般社団法人 日本冷凍空調工業会	➔	JIS C 9220 日本工業規格
省エネ性能表示	年間給湯効率(JRA)注3		年間給湯保温効率(JIS)注4 年間給湯効率(JIS)注4
タイプ	全機種共通		フルオート(ふろ保温機能あり) 給湯専用(ふろ保温機能なし)

注3 年間給湯効率(JRA)は一般社団法人 日本冷凍空調工業会標準規格JRA 4050に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお(掲載)値は、省エネモードである「おまかせ 節約/低温/低」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定や、ご使用条件等により変わります。年間給湯効率(JRA) = 1年間で使用する給湯に係る熱量 ÷ 1年間で必要な消費電力量 ※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で42℃のお湯を一日に約425L使用する条件等を想定したものです。注4 年間給湯保温効率(JIS)および年間給湯効率(JIS)は日本工業規格であるJIS C 9220:2011に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量および保温熱量を表したものです。ふろ保温機能のあるものは年間給湯保温効率(JIS)とし、ふろ保温機能のないものは年間給湯効率(JIS)とし、次の式で求められます。年間給湯保温効率(JIS) = 1年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量 ÷ 1年間で必要な消費電力量 年間給湯効率(JIS) = 1年間で使用する給湯に係る熱量 ÷ 1年間で必要な消費電力量 地域条件・運転モードの設定や、ご使用条件等により変わります。